



# 国家検定

## 平成28年度前期 技能検定受検案内

(技能五輪大阪府大会参加案内を含む)

技能検定は、職業能力開発促進法に基づき、働く人達の技能を一定の基準によって検定し、これを公証する国家検定制度であり、受検される皆さんの技能と社会的地位の向上を図り、多角化する産業の発展に即応することを目的としています。

前期の技能検定は、検定職種(作業)ごとに1級・単一等級・2級・3級に区分し、大阪府知事の委任を受けて、実技試験と学科試験を大阪府職業能力開発協会が行います。

技能検定に合格された方には、1級及び単一等級は厚生労働大臣から、2級及び3級は大阪府知事から合格証書が交付され、技能士と称することができます。

### 1 実施日程【前期】

区 分	日 程	備 考	
実 施 公 示	平成28年 3月 3日 (木)		
受 検 申 請 受 付	平成28年 4月 4日 (月) から 平成28年 4月15日 (金) まで	土・日曜日を除く ( 9:00~12:00 ) ( 13:00~16:30 )	
実 技 試 験	問 題 公 表	平成28年 5月26日 (木) から	職種(作業)によっては、問題の全部または一部が非公開になります。
	実 施 日	平成28年 6月 2日 (木) から 平成28年 9月 7日 (水) まで	試験の日時・場所が決まり次第受検票(封筒)で通知します。
	全国統一実施日	平成28年 8月21日 (日) 平成28年 8月28日 (日) 平成28年 9月 4日 (日)	全国統一実施職種(作業)の試験日は、(表1-1, 1-2, 1-3)のとおりです。受検票(封筒)で通知します。
学 科 試 験 実 施 日	平成28年 7月17日 (日) ★ 平成28年 8月21日 (日) 平成28年 8月28日 (日) 平成28年 8月31日 (水) 平成28年 9月 4日 (日)	学科試験の試験日は、(表1-1, 1-2, 1-3)のとおりです。受検票(はがき)で通知します。	
合 格 発 表	平成28年 8月26日 (金) ★ 平成28年 9月30日 (金)		

★印は、金属熱処理を除く3級職種が対象。



## 大阪府職業能力開発協会

〒550-0011 大阪市西区阿波座2-1-1

大阪本町西第一ビルディング6階

電 話 06-6534-7510

FAX 06-6534-7511

ホームページ <http://www.osaka-noukai.jp>

## 2 実施職種(作業)、受検手数料及び試験実施日程等

- (1) 平成28年度前期の技能検定は、(表1-1)の1級、2級 45職種 78作業、(表1-2)の単一等級 5職種 6作業及び(表1-3)の3級 15職種 21作業について、検定職種(作業)ごとに実技試験及び学科試験によって実施します。
- (2) 学科試験の受検手数料は、級別・職種・作業の区別なく、全て3,100円です。
- (3) 実技試験の受検手数料は、(表1-1)、(表1-2)及び(表1-3)に記載しています。
- (4) 実技試験のうち○印の試験日は受検票で通知します。

(表1-1) 1級・2級

【学科試験の受検手数料は全て3,100円です。】

(公示数) 45職種 78作業

職種名	作業名	実技試験の形式・日程			実技試験 受検手数料	学科試験 日 程
		作業試験	要素試験	ハ・ハ・テスト		
園芸装飾	室内園芸装飾作業	○			17,900円	9月4日(日) (午前)
造園	造園工事作業	○	○		17,900円	8月21日(日) (午前)
鑄造	鑄鉄鑄物鑄造作業	○			17,900円	9月4日(日) (午前)
金属熱処理	一般熱処理作業		8月28日(日)	8月21日(日) <午後>	17,900円	8月21日(日) (午前)
	浸炭・浸炭窒化・窒化処理作業					
	高周波・炎熱処理作業					
機械加工	普通旋盤作業	○			17,900円	8月28日(日) (午前)
	数値制御旋盤作業	○		8月28日(日) <午後>		
	フライス盤作業	○				
	数値制御フライス盤作業	○		8月28日(日) <午後>		
	ボール盤作業	○				
	横中ぐり盤作業	○				
	ジグ中ぐり盤作業	○				
	平面研削盤作業	○				
	円筒研削盤作業	○				
	ホブ盤作業	○				
	マシニングセンタ作業		○	8月28日(日) <午後>		
放電加工	数値制御形彫り放電加工作業	○		1級のみ 9月4日(日) <午後>	17,900円	9月4日(日) (午前)
	ワイヤ放電加工作業					
金属プレス加工	金属プレス作業	○		8月21日(日) <午後>	17,900円	8月21日(日) (午前)

【学科試験の受検手数料は全て3,100円です。】

1級・2級

職種名	作業名	実技試験の形式・日程			実技試験 受検手数料	学科試験 日 程
		作業試験	要素試験	ペーパーテスト		
鉄 工	製 缶 作 業	○			17,900 円	8月28日(日) (午前)
	構 造 物 鉄 工 作 業					
建 築 板 金	内 外 装 板 金 作 業	○			17,900 円	9月 4日(日) <午後>
	ダ ク ト 板 金 作 業					
工 場 板 金	曲 げ 板 金 作 業	○			17,900 円	9月 4日(日) <午後>
	打 出 し 板 金 作 業					
め っ き	電 気 め っ き 作 業	○			17,900 円	8月28日(日) (午前)
アルミニウム陽極酸化処理	陽 極 酸 化 処 理 作 業	○			17,900 円	8月28日(日) (午前)
仕 上 げ	治 工 具 仕 上 げ 作 業	○			17,900 円	9月 4日(日) (午前)
	金 型 仕 上 げ 作 業					
	機 械 組 立 仕 上 げ 作 業					
切削工具研削	工 作 機 械 用 切 削 工 具 研 削 作 業	○			17,900 円	9月 4日(日) <午後>
ダ イ カ ス ト	ホ ッ ト チ ャ ン バ ダ イ カ ス ト 作 業	○		8月28日(日) <午後>	17,900 円	8月28日(日) (午前)
	コ ー ル ド チ ャ ン バ ダ イ カ ス ト 作 業					
電子機器組立て	電 子 機 器 組 立 て 作 業	○			17,900 円	8月28日(日) <午後>
電気機器組立て	配 電 盤 ・ 制 御 盤 組 立 て 作 業	○			17,900 円	9月 4日(日) (午前)
産業車両整備	産 業 車 両 整 備 作 業	○			17,900 円	8月21日(日) <午後>
鉄 道 車 両 製 造 ・ 整 備	機 器 ぎ 装 作 業	○			17,900 円	9月 4日(日) (午前)
	内 部 ぎ 装 作 業	○				
	配 管 ぎ 装 作 業	○				
	電 気 ぎ 装 作 業	○		1級のみ 9月4日(日) <午後>		
光学機器製造	光 学 ガ ラ ス 研 磨 作 業	○			17,900 円	8月21日(日) <午後>
建設機械整備	建 設 機 械 整 備 作 業	○		8月28日(日) <午後>	17,900 円	8月28日(日) (午前)
婦人子供服製造	婦 人 子 供 注 文 服 製 作 作 業	○			14,900 円	8月28日(日) <午後>
木 型 製 作	模 型 製 作 作 業	○			17,900 円	8月28日(日) (午前)

【学科試験の受検手数料は全て3,100円です。】

1級・2級

職種名	作業名	実技試験の形式・日程			実技試験 受検手数料	学科試験 日 程
		作業試験	要素試験	ペーパーテスト		
建 具 製 作	木製建具手加工作業	○			17,900 円	8月28日(日) <午後>
	木製建具機械加工作業	○				
印 刷	オフセット印刷作業	○			17,900 円	8月28日(日) <午後>
プラスチック成形	射出成形作業	○			17,900 円	8月21日(日) <午後>
	インフレーション成形作業					
石 材 施 工	石 張 り 作 業	○			17,900 円	9月 4日(日) (午前)
と び	と び 作 業	○			17,900 円	8月21日(日) <午後>
左 官	左 官 作 業	○			17,900 円	8月28日(日) <午後>
ブ ロ ッ ク 建 築	コンクリートブロック工事作業	○			17,900 円	9月 4日(日) <午後>
タ イ ル 張 り	タ イ ル 張 り 作 業	○			17,900 円	9月 4日(日) (午前)
畳 製 作	畳 製 作 作 業	○			17,900 円	8月28日(日) <午後>
防 水 施 工	ウレタンゴム系塗膜防水工事作業	○			17,900 円	8月21日(日) <午後>
	アクリルゴム系塗膜防水工事作業					
	シーリング防水工事作業					
	F R P 防 水 工 事 作 業					
内装仕上げ施工	プラスチック系床仕上げ工事作業	○			17,900 円	8月28日(日) (午前)
	木質系床仕上げ工事作業					
	鋼製下地工事作業					
	ボード仕上げ工事作業					
熱 絶 縁 施 工	保温保冷工事作業	○			17,900 円	9月 4日(日) (午前)
	吹付け硬質ウレタンフォーム断熱工事作業					
サ ッ シ 施 工	ビル用サッシ施工作業	○			17,900 円	8月21日(日) (午前)
ウェルポイント施工	ウェルポイント工事作業		8月28日(日)	8月28日(日) (午前)	17,900 円	9月 4日(日) (午前)
化 学 分 析	化 学 分 析 作 業	8月28日(日)		1級のみ 8月21日(日) <午後>	17,900 円	8月21日(日) (午前)
貴金属装身具製作	貴金属装身具製作作業	○			17,900 円	8月28日(日) (午前)

【学科試験の受検手数料は全て3,100円です。】

1級・2級

職種名	作業名	実技試験の形式・日程			実技試験 受検手数料	学科試験 日 程
		作業試験	要素試験	ペーパーテスト		
表 装	壁 装 作 業	○			17,900 円	9月 4日(日) (午前)
塗 装	建 築 塗 装 作 業	○			17,900 円	8月21日(日) (午前)
	金 属 塗 装 作 業					
広告美術仕上げ	広告面ペイント仕上げ作業	○			17,900 円	8月28日(日) <午後>
	広告面粘着シート仕上げ作業					
写 真	肖像写真デジタル作業	○			17,900 円	8月31日(水) (午前)
商品装飾展示	商品装飾展示作業	8月21日(日) (午前)			17,900 円	8月28日(日) (午前)
フラワー装飾	フ ラ ワ ー 装 飾 作 業	○			17,900 円	9月 4日(日) <午後>

(表1-2) 単一等級

【学科試験の受検手数料は全て3,100円です。】

(公示数) 5職種 6作業

職種名	作業名	実技試験の形式・日程			実技試験 受検手数料	学科試験 日 程
		作業試験	要素試験	ペーパーテスト		
溶 射	防 食 溶 射 作 業	○			17,900 円	9月 4日(日) (午前)
枠組壁建築	枠 組 壁 工 事 作 業	○		9月4日(日) <午後>	17,900 円	9月 4日(日) (午前)
路面標示施工	熔融ペイントハンドマーカージェット作業	○			17,900 円	9月 4日(日) <午後>
	加熱ペイントマシンマーカージェット作業					
塗料調色	調 色 作 業	○	○		17,900 円	9月 4日(日) <午後>
産業洗浄	高 圧 洗 浄 作 業	○		8月21日(日) <午後>	17,900 円	8月21日(日) (午前)

(表1-3) 3級

【学科試験の受検手数料は全て3,100円です。】

(公示数) 15職種 21作業

職種名	作業名	実技試験の形式・日程			実技試験 受検手数料	学科試験 日 程
		作業試験	要素試験	ペーパーテスト		
園芸装飾	室内園芸装飾作業	○			17,900円 (11,900円)	7月17日(日) (午前)
造園	造園工事作業	○	○		17,900円 (11,900円)	7月17日(日) <午後>
金属熱処理	一般熱処理作業		8月28日(日)	8月21日(日) <午後>	17,900円 (11,900円)	8月21日(日) (午前)
	浸炭・浸炭窒化・窒化処理作業					
	高周波・炎熱処理作業					
機械加工	普通旋盤作業	○			17,900円 (11,900円)	7月17日(日) (午前)
	数値制御旋盤作業					
	フライス盤作業					
	平面研削盤作業					
	マシニングセンタ作業					
仕上げ	機械組立仕上げ作業	○			17,900円 (11,900円)	7月17日(日) <午後>
機械検査	機械検査作業	○			14,900円 (9,900円)	7月17日(日) <午後>
電子機器組立て	電子機器組立て作業	○			17,900円 (11,900円)	7月17日(日) <午後>
建築大工	大工工事作業	○			17,900円 (11,900円)	7月17日(日) <午後>
左官	左官作業	○			17,900円 (11,900円)	7月17日(日) <午後>
ブロック建築	コンクリートブロック工事作業	○			17,900円 (11,900円)	7月17日(日) (午前)
化学分析	化学分析作業	○			17,900円 (11,900円)	7月17日(日) (午前)
広告美術仕上げ	広告面粘着シート仕上げ作業	○			17,900円 (11,900円)	7月17日(日) (午前)
舞台機構調整	音響機構調整作業	○	○		17,900円 (11,900円)	7月17日(日) <午後>
商品装飾展示	商品装飾展示作業	○			17,900円 (11,900円)	7月17日(日) (午前)
フラワー装飾	フラワー装飾作業	○			17,900円 (11,900円)	7月17日(日) <午後>

※ 1. 高等学校、専門学校等の在校生が3級を受検する場合の実技試験受検手数料は( )内の金額です。

※ 2. 表の中で実技試験に関して試験日が記載されている職種(作業)は、全国一斉に実施をいたします。

それ以外の職種(作業)の実技試験は、1級・単一等級及び2級については、6月2日(木)～9月7日(水)の間で実施します。

また、3級(金属熱処理を除く)の実技試験の実施期間は、6月2日(木)～8月7日(日)です。

実施日等の詳細が決まり次第通知をいたします。

## 実技試験実施日までに取得が必要な資格一覧表

(表2-別)

職種名	作業名	級別	試験会場に必ず持参するもの
金属プレス加工	金属プレス作業	1級・2級	「動力プレスの金型取替え」特別教育受講修了証等
鉄工	製缶作業	1級	ガス溶接作業主任者免許証又はガス溶接技能講習修了証及びアーク溶接特別教育受講修了証等
	構造物鉄工作業	1級・2級	
	製缶作業	2級	アーク溶接特別教育受講修了証等
工場板金	曲げ板金作業	1級・2級	ガス溶接作業主任者免許証又はガス溶接技能講習修了証等
	打出し板金作業	1級・2級	
建設機械整備	建設機械整備作業	1級・2級	
溶射	防食溶射作業	単一等級	
切削工具研削	工作機械用切削工具研削作業	1級・2級	「研削といしの取替え」特別教育受講修了証等
内装仕上げ施工	鋼製下地工事作業	1級・2級	
サッシ施工	ビル用サッシ施工作業	1級・2級	アーク溶接特別教育受講修了証等
路面標示施工	加熱ペイントマシンマーカ―工事作業	単一等級	使用するマシンマーカ―車の運転免許証

※ (表2-別)に記載されている職種(作業)の実技試験を受検される場合は、試験日までに所定の免許の取得又は講習の修了をされないと受検できませんので、受検を申請するにあたって特に注意してください。

### 3 受検申請の手続き

#### (1) 提出書類

- ア 技能検定受検申請書・実技試験受検票(封筒)・学科試験受検票(はがき)…各1部
- イ 実技試験又は学科試験の免除を受けようとする場合、その免除を証明する書類

#### (2) 申請の受付

- ア 受検申請書類は、平成28年4月4日(月)から4月15日(金)までの受付期間内に大阪府職業能力開発協会に提出してください。職種・作業によっては、取りまとめ団体・組合に提出していただく場合があります。ただし、設備等の都合で受付期間中でも締め切ることがあります。また、実技試験の受検申請者が僅少な職種は、実技試験を実施しない場合もあります。
- イ インターネットや郵送等による申請の受付はしていません。
- ウ 受付時間は、平日の午前9時00分から12時00分までと、午後1時00分から4時30分までです。なお、土曜日・日曜日の受付はいたしません。
- エ 受検申請は、受付の混雑する締切日近くをさけて、早めに手続きをしてください。

- オ 受検申請は、受検者ひとりにつき、1 職種・1 作業としてください。
- カ 事業所・団体でまとめて申請される場合は、別に指定する「技能検定一括申込名簿」も同時に提出してください。
- キ 受検手数料は、申請と同時に納付してください。ただし、実技試験又は学科試験が免除される場合は、免除される方の受検手数料は不要です。両方免除申請は、無料です。
- ク 受検申請受付終了後は、申請を取消すことはできません。  
また、試験を受けなかった場合でも受検手数料は返還いたしません。

### (3) 受検申請書の記入方法

16 ページの「申請書記入例」を参照のうえ、正確に記入してください。

なお、申請後に住所等を変更された場合は、速やかに当協会に連絡してください。

### (4) 申請用紙等の交付

- ア 受検申請書は、級別に色分けしています。受検案内、受検票とともに大阪府職業能力開発協会でお渡しします。
- イ 郵送にて書類の入手を希望される場合は、受検予定職種（作業）・級別・送付先を明記のうえ、返信用切手 140 円分（申請書類 1 部の場合）を同封し、封書で請求してください。

## 4 受検の資格

- (1) 技能検定の受検資格は、1 級・単一等級・2 級及び 3 級の全てについて、原則として検定職種に関する実務経験が必要で、その年数は 10 ページの(表 2)のとおり学歴や訓練歴等に応じて定められており、この要件を備えていないと受検できません。
- (2) 2 級・3 級合格後、1 級・2 級の受検資格の短縮申請をされる場合は、それぞれの合格証書・技能士手帳又は技能士カードのコピーを必ず添付してください。
- (3) 3 級を受検する場合、職業訓練を受けている方や学校の在校生は、検定職種に関する訓練科・学科の在学(校)証明書を添付してください。

## 5 試験の免除

- (1) 実技試験又は学科試験の免除をうけようとされる方は、11 ページの(表 3)の免除資格事項に該当することが必要になりますので、受検申請書の試験の免除欄に必要事項を記入するとともに、その資格を証明する技能検定合格証書、技能証、職業訓練指導員免許証、学科・実技試験合格通知書、技能照査合格証書、1 級・単一等級・2 級の短期（技能士）訓練課程の修了証書等の書類のコピーを必ず添付してください。
- (2) 申請される時に証明書類の添付がない場合は、免除の取扱いをすることができません。  
また、申請受付期間後に免除資格があることが判明しても免除することができませんので、この点を特にご注意ください。

## 6 問題の公表

実技試験問題は、1 ページの技能検定の実施日程に示した問題公表日以降、受検者の方には、送付いたします。また、大阪府職業能力開発協会でも公表いたしますが、窓口での取り扱いは、試験問題の閲覧のみとなります。

(閲覧時間は、午前 9 時 00 分から 12 時 00 分、午後 1 時 00 分から 5 時 00 分までで、問題公表日の平成 28 年 5 月 26 日から実技試験最終日の平成 28 年 9 月 7 日までの間は、コピー等のサービスができません。)

また、全国統一実施職種（作業）の実技試験問題（要素試験、ペーパーテストを含む。）については、問題概要のみの公表になります。

## 技能検定の受検資格一覧表

\*実務経験年数は平成28年4月15日現在で算定します。

\*実務経験年数の短縮を希望される方は、厚生労働省の指定する学科・訓練科の修了が必要ですので、事前に当協会までお問い合わせください。

(単位：年)

受検対象者(※1)	特級	1級		2級		3級	単一等級						
	1級 合格後	2級 合格後	3級 合格後	2級 合格後	3級 合格後	(※7)							
実務経験のみ	5	7	2	4	2	0	0 ※8	3					
専門高校卒業※2		6			0		0	1					
専修学校(大学入学資格付与課程に限る)卒業		5			0		0	0					
短大・高専・高校専攻科卒業 ※2		4			0		0	0					
専修学校(大学編入資格付与課程に限る)卒業													
大学卒業 ※2		4			0		0	0					
専修学校(大学院入学資格付与課程に限る)卒業		6			2		4	0	0	0 ※9	1		
専修学校 ※3 又は各種 学校卒業 (厚生労働大臣が指定したもの に限る。)										1,600時間以上	0	0 ※9	1
3,200時間以上										0	0 ※9	0	
短期課程の普通職業 訓練修了 ※4		700時間以上			6		0	0 ※6	1				
普通課程の普通職業 訓練修了 ※4		2,800時間未満			5		0	0	1				
		2,800時間以上			4		0	0	0				
専門課程又は特定専門課程の高度職業訓練修了 ※4		3			1		2	0	0	0			
応用課程又は特定応用課程の高度職業訓練修了		1			0		0	0	0				
長期課程又は短期養成課程の指導員訓練修了	1 ※5		0 ※5	0	0								
職業訓練指導員免許取得	1		-	-	-	0							
長期養成課程の指導員訓練修了	0		-	-	-	0							

※1：検定職種に関する学科、訓練科又は免許職種に限る。

※2：学校教育法による大学、短期大学又は高等学校と同等以上と認められる外国の学校又は他法令学校を卒業した者は学校教育法に基づくそれぞれのものに準ずる。

※3：大学入学資格付与課程、大学編入資格付与課程及び大学院入学資格付与課程の専修学校を除く。

※4：職業訓練法の一部を改正する法律(昭和53年法律第40号)の施行前に、改正前の職業訓練法に基づく高等訓練課程又は特別高等訓練課程の養成訓練を修了した者は、それぞれ改正後の職業能力開発促進法に基づく普通課程の普通職業訓練又は専門課程の高度職業訓練を修了したものとみなす。また、職業能力開発促進法の一部を改正する法律(平成4年法律第67号)の施行前に、改正前の職業能力開発促進法に基づく専門課程の養成訓練を修了した者は、専門課程の高度職業訓練を修了したものとみなし、改正前の職業能力開発促進法に基づく普通課程の養成訓練又は職業転換課程の能力再開発訓練(いずれも800時間以上のものに限る。)を修了した者は、それぞれ改正後の職業能力開発促進法に基づく普通課程又は短期課程の普通職業訓練を修了したものとみなす。

※5：短期養成課程の指導員訓練の修了者については、訓練修了後に行われる能力審査(職業訓練指導員試験に合格した者と同等以上の能力を有すると職業能力開発総合大学校の長が認める審査)に合格している者に限る。

※6：総訓練時間が700時間未満のものを含む。

※7：3級技能検定については、上記のほか、検定職種に関する学科に在学する者及び検定職種に関する訓練科において職業訓練を受けている者も受検できる。

※8：検定職種に関し実務の経験を有する者について、受検資格を認めることとする。

※9：当該学校が厚生労働大臣の指定を受けたものであるか否かに関わらず、受検資格を付与する。

(表3)

## 免除資格一覧表

## 1 技能検定関係 (同一検定職種に限る。)

対象者		技能検定試験の免除の範囲					備考
		特級	1級	2級	3級	単一等級	
特級	実技試験のみ合格	実技の全部	—	—	—	—	※1
	学科試験のみ合格	学科の全部	—	—	—	—	※1
1級	技能検定合格	—	学科の全部			—	
	実技試験のみ合格	—	実技の全部			—	※2
	学科試験のみ合格	—	学科の全部			—	※2
2級	技能検定合格	—	—	学科の全部		—	
	実技試験のみ合格	—	—	実技の全部		—	※2
	学科試験のみ合格	—	—	学科の全部		—	※2
3級	技能検定合格	—	—	—	学科の全部	—	
	実技試験のみ合格	—	—	—	実技の全部	—	※2
	学科試験のみ合格	—	—	—	学科の全部	—	※2
単一等級	技能検定合格	—	—	—	—	学科の全部	
	実技試験のみ合格	—	—	—	—	実技の全部	※2
	学科試験のみ合格	—	—	—	—	学科の全部	※2

※1：実技試験又は学科試験に合格した日から5年間（最終年にあつては、年度終りまで）有効。

※2：選択科目のある検定職種の場合には、同一の選択科目に限る。

## 2 職業能力開発行政関係 (検定職種に関する訓練科又は免許職種に限る。)

対象者		技能検定試験の免除の範囲					備考
		特級	1級	2級	3級	単一等級	
指導員試験合格又は指導員免許取得		—	学科の全部				
応用課程または特定 応用課程の高度 職業訓練における 技能照査合格	技能照査合格後 5年 実務経験年数 2年	—	学科の全部				
	—	—	学科の全部				
専門課程又は特定専 門課程の高度 職業訓練における 技能照査合格	技能照査合格後 4年 実務経験年数 1年	—	学科の全部				
	—	—	学科の全部				
	—	—	学科の全部				—
普通課程の普通 職業訓練におけ 技能照査合格	技能照査合格後2年(2,800時間 以上なら1年)の実務経験	—	—	学科の全部			
	—	—	学科の全部			—	
短期課程の普通職業 訓練において修了時 試験合格かつ修了	1級技能士コース	—	学科の全部			—	
	2級技能士コース	—	—	学科の全部		—	
	単一等級技能士コース	—	—	—	学科の全部		
中央技能検定委員2年以上		—	実技の全部及び学科の全部				
都道府県技能検定委員2年以上		—	実技の全部				
技能五輪全国大会における技能証		—	実技の全部	—	—	実技の全部	
技能五輪地方大会における技能証		—	—	実技の全部		—	※3
全国障害者 技能競技大会	実技部門の技能証	—	—	実技の全部		—	※3
	学科部門の技能証	—	—	学科の全部		—	※3

※3 有効期限が過ぎた技能証であっても有効。

### 3 他法令等関係

対 象 者	技能検定試験の免除の範囲					備 考
	特級	1級	2級	3級	単一等級	
建築士法による1級建築士試験若しくは2級建築士試験に合格した者又は1級建築士若しくは2級建築士の免許を受けた者	—	建築大工職種及びブロック建築職種に係る学科試験の全部		—	枠組壁建築職種に係る学科試験の全部	
建築士法による木造建築士試験に合格した者又は木造建築士の免許を受けた者	—	建築大工職種に係る学科試験の全部		—	枠組壁建築職種に係る学科試験の全部	

## 7 試験実施期日及び実施場所等

### (1) 実技試験

実技試験は、1ページの技能検定の実施日程に示した期間内の指定する日に行います。

ただし、全国统一実施職種については、2ページから6ページまでの(表1-1)、(表1-2)、及び(表1-3)に示した日に(実技試験及び実技試験の一部として要素試験又はペーパーテストを)全国一斉に実施します。

なお、受検者には、受検番号・試験日・集合時間・試験場等を実技試験受検票(封筒)によって通知いたします。また、学科試験の実施日と同じ日に併せて実施するペーパーテストは、学科試験受検票(はがき)によって通知いたします。

### (2) 学科試験

学科試験の実施日程は、2ページから6ページまでの(表1-1)、(表1-2)、及び(表1-3)に示すとおりです。受検者には、受検番号・試験日・集合時間・試験場等を学科試験受検票(はがき)によって通知いたします。

### (3) 受検票の発送

- ① 実技試験の受検票は6月上旬より、順次実技試験協力事業所・団体より発送いたします。
- ② 学科試験の受検票は3級職種(金属熱処理を除く)は6月下旬ごろに、それ以外の級・職種は7月下旬ごろに、大阪府職業能力開発協会より発送いたします。

## 8 合格発表等

### (1) 合格発表

技能検定の合格者及び実技試験または学科試験の一部合格者は、金属熱処理を除く3級職種(作業)が平成28年8月26日(金)に、その他の職種(作業)は平成28年9月30日(金)に、級別・作業別・受検番号により、大阪府商工労働部雇用推進室人材育成課及び大阪府職業能力開発協会で発表するとともに、当協会のホームページ<http://www.osaka-noukai.jp>にも掲載いたします。

また、合格者(技能士)については、大阪府公報に掲載されます。

### (2) 試験結果の通知

受検されたすべての方に試験結果通知書が、合格発表日以降に届きます。

実技試験または学科試験の一部合格の方は、この通知書が、次回技能検定を受検する場合に免除資格を証明する書類となりますので、大切に保存してください。

### (3) 合格証書等の交付

技能検定の合格者には、大阪府商工労働部雇用推進室人材育成課から、合格証書及び技能士章が交付されます。(交付日時等については、合格発表時にお知らせします。)

### (4) 合格証書等の受領方法

受検申請書の合格証書の受領方法において「1. とりまとめ団体・事業所に受領を委任」を選択された方は、団体・事業所からの連絡をお待ちください。「2. 個人で受領」を選択された方は、交付日以降に大阪府商工労働部雇用推進室人材育成課で受領してください。

## 9 個人情報の取扱いについて

(1) 受検申請書に記入された個人情報は、技能検定の実施に関する目的以外には使用いたしません。

(2) 受検申請書の合格証書の受領方法において「1. とりまとめ団体・事業所に受領を委任」を選択された方の試験結果等の情報のうち、受領に必要なものは、とりまとめ団体・事業所に通知されます。

## ○技能五輪大阪府大会

この大会は、技能五輪国際大会に派遣する選手を選抜するための大阪府予選として、技能検定の実技試験に併せて行うものです。技能五輪国際大会は、青年技能者の国際的な技能競技大会で、参加国における職業訓練の振興と、青年技能者相互の理解と親善を深めるために実施されるものです。

技能五輪大阪府大会で優秀な成績をおさめて大阪府代表となり、次いで技能五輪全国大会に出場して優勝すると、日本代表選手として、技能五輪国際大会に出場することができます。

### 1 競技職種及び参加料

(1) 平成28年度前期の技能五輪大阪府大会の競技職種は、技能検定の実技試験と対応する職種・作業（以下「対応職種」という。）と技能五輪予選として独自に行う職種（以下「単独職種」という。）について実施します。

(2) 参加手数料（参加料）は、（表4）で確認してください。

（表 4）

競 技 職 種	対応する検定職種	作 業 名	参 加 料
旋 盤	機 械 加 工	普 通 旋 盤 作 業	17,900 円
フ ラ イ ス 盤		フ ラ イ ス 盤 作 業	
構 造 物 鉄 工	鉄 工	構 造 物 鉄 工 作 業	17,900 円
曲 げ 板 金	工 場 板 金	曲 げ 板 金 作 業	17,900 円
自 動 車 板 金		打 出 し 板 金 作 業	
抜 き 型	仕 上 げ	金 型 仕 上 げ 作 業	17,900 円
機 械 組 立 て		機 械 組 立 仕 上 げ 作 業	
電 子 機 器 組 立 て	電 子 機 器 組 立 て	電 子 機 器 組 立 て 作 業	17,900 円
工 場 電 気 設 備	電 気 機 器 組 立 て	配 電 盤・制 御 盤 組 立 て 作 業	17,900 円
洋 裁	婦 人 子 供 服 製 造	婦 人 子 供 注 文 服 製 作 作 業	14,900 円
建 具	建 具 製 作	木 製 建 具 手 加 工 作 業	17,900 円
と び	と び	と び 作 業	17,900 円
左 官	左 官	左 官 作 業	17,900 円
タ イ ル 張 り	タ イ ル 張 り	タ イ ル 張 り 作 業	17,900 円
貴 金 属 装 身 具	貴 金 属 装 身 具 製 作	貴 金 属 装 身 具 製 作 作 業	17,900 円
フ ラ ワ ー 装 飾	フ ラ ワ ー 装 飾	フ ラ ワ ー 装 飾 作 業	17,900 円

## 2 参加資格

技能五輪大阪府大会の参加資格は、10ページの技能検定受検資格に関係なく、平成5年1月1日以降に生まれた方が参加できます。

なお、技能検定受検資格のある方は「対応職種」の学科試験も受検できます。

## 3 参加申込の手続

### (1) 提出書類

ア 技能五輪大阪府大会のみに参加しようとする方は、技能競技大会参加申込書・事業主の参加推薦書・実技試験受検票（技能五輪参加票：封筒） 各1通

イ 技能五輪大阪府大会の参加に併せて「対応職種」の2級技能検定を受検しようとする方は、2級技能検定受検申請書・事業主の参加推薦書・実技試験受検票（封筒）及び学科試験受検票（はがき） 各1通

### (2) 参加申込の受付及び参加申込書の記入要領

技能検定に準じます。また、2級と併せて申請する場合は、受検申請書の上欄外に

国 競 又は 五 輪 と赤色で表示してください。

## 4 競技課題の公表

「対応職種」の競技課題は、2級技能検定実技試験問題を使用します。公表日は、技能検定と同じです。

## 5 競技実施期日及び実施場所等

技能検定実技試験の実施期間内で指定する日に行います。

参加者には、参加番号・競技日・集合時間・競技場等を後日通知します。

## 6 技能五輪全国大会

技能五輪大阪府大会に参加し、優秀な成績を修めた方は、第54回技能五輪全国大会派遣選手として推薦されます。

## 7 技能証の交付

(1) 技能五輪大阪府大会のみに参加して、一定の水準以上の成績をおさめた方には、技能証が交付されます。

技能証を交付された方は、対応する2級の検定職種の実技試験が免除されます。

( 11ページ(表3)免除資格一覧表参照 )

(2) 技能証は、平成28年9月30日(金)から大阪府職業能力開発協会に交付いたします。



# 学歴年齢早見表

※ 1月1日～4月1日生まれの方については、前年の欄を適用してください。

生 年	年 齢	中学卒業年	高校卒業年	大学卒業年	生 年	年 齢	中学卒業年	高校卒業年	大学卒業年
昭和 30 年	61 歳	昭和 46 年	昭和 49 年	昭和 53 年	昭和 53 年	38 歳	平成 6 年	平成 9 年	平成 13 年
昭和 31 年	60 歳	昭和 47 年	昭和 50 年	昭和 54 年	昭和 54 年	37 歳	平成 7 年	平成 10 年	平成 14 年
昭和 32 年	59 歳	昭和 48 年	昭和 51 年	昭和 55 年	昭和 55 年	36 歳	平成 8 年	平成 11 年	平成 15 年
昭和 33 年	58 歳	昭和 49 年	昭和 52 年	昭和 56 年	昭和 56 年	35 歳	平成 9 年	平成 12 年	平成 16 年
昭和 34 年	57 歳	昭和 50 年	昭和 53 年	昭和 57 年	昭和 57 年	34 歳	平成 10 年	平成 13 年	平成 17 年
昭和 35 年	56 歳	昭和 51 年	昭和 54 年	昭和 58 年	昭和 58 年	33 歳	平成 11 年	平成 14 年	平成 18 年
昭和 36 年	55 歳	昭和 52 年	昭和 55 年	昭和 59 年	昭和 59 年	32 歳	平成 12 年	平成 15 年	平成 19 年
昭和 37 年	54 歳	昭和 53 年	昭和 56 年	昭和 60 年	昭和 60 年	31 歳	平成 13 年	平成 16 年	平成 20 年
昭和 38 年	53 歳	昭和 54 年	昭和 57 年	昭和 61 年	昭和 61 年	30 歳	平成 14 年	平成 17 年	平成 21 年
昭和 39 年	52 歳	昭和 55 年	昭和 58 年	昭和 62 年	昭和 62 年	29 歳	平成 15 年	平成 18 年	平成 22 年
昭和 40 年	51 歳	昭和 56 年	昭和 59 年	昭和 63 年	昭和 63 年	28 歳	平成 16 年	平成 19 年	平成 23 年
昭和 41 年	50 歳	昭和 57 年	昭和 60 年	平成 元年	平成 元年	27 歳	平成 17 年	平成 20 年	平成 24 年
昭和 42 年	49 歳	昭和 58 年	昭和 61 年	平成 2 年	平成 2 年	26 歳	平成 18 年	平成 21 年	平成 25 年
昭和 43 年	48 歳	昭和 59 年	昭和 62 年	平成 3 年	平成 3 年	25 歳	平成 19 年	平成 22 年	平成 26 年
昭和 44 年	47 歳	昭和 60 年	昭和 63 年	平成 4 年	平成 4 年	24 歳	平成 20 年	平成 23 年	平成 27 年
昭和 45 年	46 歳	昭和 61 年	平成 元年	平成 5 年	平成 5 年	23 歳	平成 21 年	平成 24 年	平成 28 年
昭和 46 年	45 歳	昭和 62 年	平成 2 年	平成 6 年	平成 6 年	22 歳	平成 22 年	平成 25 年	
昭和 47 年	44 歳	昭和 63 年	平成 3 年	平成 7 年	平成 7 年	21 歳	平成 23 年	平成 26 年	
昭和 48 年	43 歳	平成 元年	平成 4 年	平成 8 年	平成 8 年	20 歳	平成 24 年	平成 27 年	
昭和 49 年	42 歳	平成 2 年	平成 5 年	平成 9 年	平成 9 年	19 歳	平成 25 年	平成 28 年	
昭和 50 年	41 歳	平成 3 年	平成 6 年	平成 10 年	平成 10 年	18 歳	平成 26 年		
昭和 51 年	40 歳	平成 4 年	平成 7 年	平成 11 年	平成 11 年	17 歳	平成 27 年		
昭和 52 年	39 歳	平成 5 年	平成 8 年	平成 12 年	平成 12 年	16 歳	平成 28 年		

# 大阪府職業能力開発協会 案内図

